

国民栄誉賞

巨人軍の王選手が大リーグ（MLB）の記録を抜いた 800 本以上のホームランを打ったことを表彰のするために、ときの内閣の人気取りのために創設されたものである。無論、定義がある。（ホームラン世界記録については、終始否定してきた。いまでも変わりはない。ただ 800 本以上という、他の選手とは明らかに段違いの数字であり、国民栄誉賞については否定しない。）

広く国民に敬愛され、社会に明るい希望を与えることに、顕著な業績があった者について、その栄誉をたたえることを目的とする。

で、今年、プロ野球の松井が受賞するというから、**悪い冗談**だろうと思った。彼がいったい、何を成し遂げたのか？ 長嶋茂雄氏と同時で、しかも長嶋がおまけだという。いったい、だれが受賞者を決めているのだ！！

長嶋はプロ野球中興の祖である。それこそ「社会に明るい希望を与え」てきた。彼は、存在そのものが国民栄誉賞なのだ。プロになる前から、プロとはどういうものかを追究してきた。この人がプロ野球に入団してから、観客にプレーを見てもらうことに執念をもやし、テレビの視聴率を急激に上昇させた。（多くのプロ野球の先達が、たとえば杉下や金田などもこれを認めている。）長嶋が受賞することに異議があるものは少ないだろう。でも、なぜ松井なのだ。MLB（大リーグ）に行ったからか？ それならノーヒット・ノーラン 2 回の野茂だろう、シーズン安打記録を更新したイチローだろう。松井が大リーグでなにをした？ すでに幾度も指摘してきたように「並み以下の選手」ではないか。5 年もかかってホームラン 100 本、てか？ 気の利いた選手なら 2 年で打つワイ。ワールド・シリーズで MVP（最高殊勲選手）に輝いたというなら、なぜ、その年に戦力外通告をうける？ 要はクビだろう。この人の活躍で、いったい何人の人が鼓舞されてきた？

長嶋は全盛期、つねに期待を裏切らなかった男である。ペナントレースでも日本シリーズでもオールスター戦でも（つまり、常に）3 割を打っている。

なでしこ J A P A N のときにも書いたけれど、今までの受賞者にはそれほどの違和感はなかった。むしろ、なぜオリンピックで優勝した女子ソフトボール、柔道で三連覇した野村が受賞対象にならないか、の方が説得力がある。松井程度でいいのなら、サッカーの長友や香川があと数年第一線で欧州リーグで活躍したら受賞させるべきだろう。定義に反するわけではない。

松井くん、恥を知るなら、今からでも遅くない。辞退したまえ！！

2013. 04. 20.